

## 家族会とともに市街地広報活動を実施



自衛隊神奈川地方協力本部平塚地域事務所（所長 兒玉憲幸1等陸尉）は、5月21日（水）および23日（金）の両日、小田急線東海大学前駅において、自衛隊家族会西湘地区の皆様と協力し、市街地広報活動を実施しました。

当日は、駅前を行きかう大学生や高校生、地域住民の方々に対して、自衛隊の案内チラシを配布しながら、関心を示してくださいました方には直接お声がけし、自衛官という職業や自衛隊の役割について丁寧に説明を行いました。

特に、自衛官のご家族である皆様による保護者の視点からのメッセージは、若者やその保護者にとって非常に説得力があり、自衛隊をより身近に感じてもらえる貴重な機会となりました。

今回の活動では、自衛隊のやりがい、教育・訓練、福利厚生などについても紹介し、「実はちょっと気になってきた」「詳しい話が聞けて参考になった」「今後の進路の選択肢にしたいと思う」などの声も寄せられ、実地ならではの手ごたえを感じる事ができました。

平塚地域事務所は、「今後も地域の皆様に自衛隊の存在や役割、そして自衛官としての働き方をより身近に感じていただけるよう、家族会をはじめ地域と連携した広報活動を推進してまいります」としています。

## 職場見学ができる！4業種合同職業ガイダンス



自衛隊のガイダンス

自衛隊神奈川地方協力本部川崎出張所（所長 宮城英明1等陸尉）は、5月24日（土）、川崎市消防局の講堂において開催された海上保安庁、神奈川県警察、川崎市消防局と自衛隊の公安系公務員4業種合同職業ガイダンスに参加した。

ガイダンスの第1部では、各機関から試験概要のほか、採用された後の生活や収入面、休暇などのワークライフバランスについて約40分間にわたりそれぞれ趣向を凝らして説明を行った。川崎出張所は参加者に一番年齢の近い広報官が「WHY? 自衛官」の資料を用いて説明。自衛隊には幅広い職域があることに加え、働きやすい職場環境や福利厚生など良好な処遇をアピールした。

第2部では、川崎市消防局と川崎警察署の職場見学を行い、消防局ではカラーガード隊と音楽隊の演奏披露や指令センターの見学、警察署では、車両展示、鑑識体験、サイバー捜査アドベンチャー体験など多彩な内容だった。

参加者からは「各業種の職場体験や説明後の座談会で実際に現役職員の話を聞くことで、職業についてより現実的な形で知ることができて良かった」など、内容の濃い充実したガイダンスだったとの感想が多く聞かれた。

また、今回の参加者に対しては、第2弾として海上自衛隊、海上保安庁の職場見学・体験も企画されている。

川崎出張所は、「今後も他機関と協力して、公務員分野での自衛隊の魅力を伝えていきたい」としている。



警察署 サイバー捜査アドベンチャー



警察署 鑑識体験



消防局 音楽隊